

# がんゲノム遺伝子パネル検査用病理検体の提出について

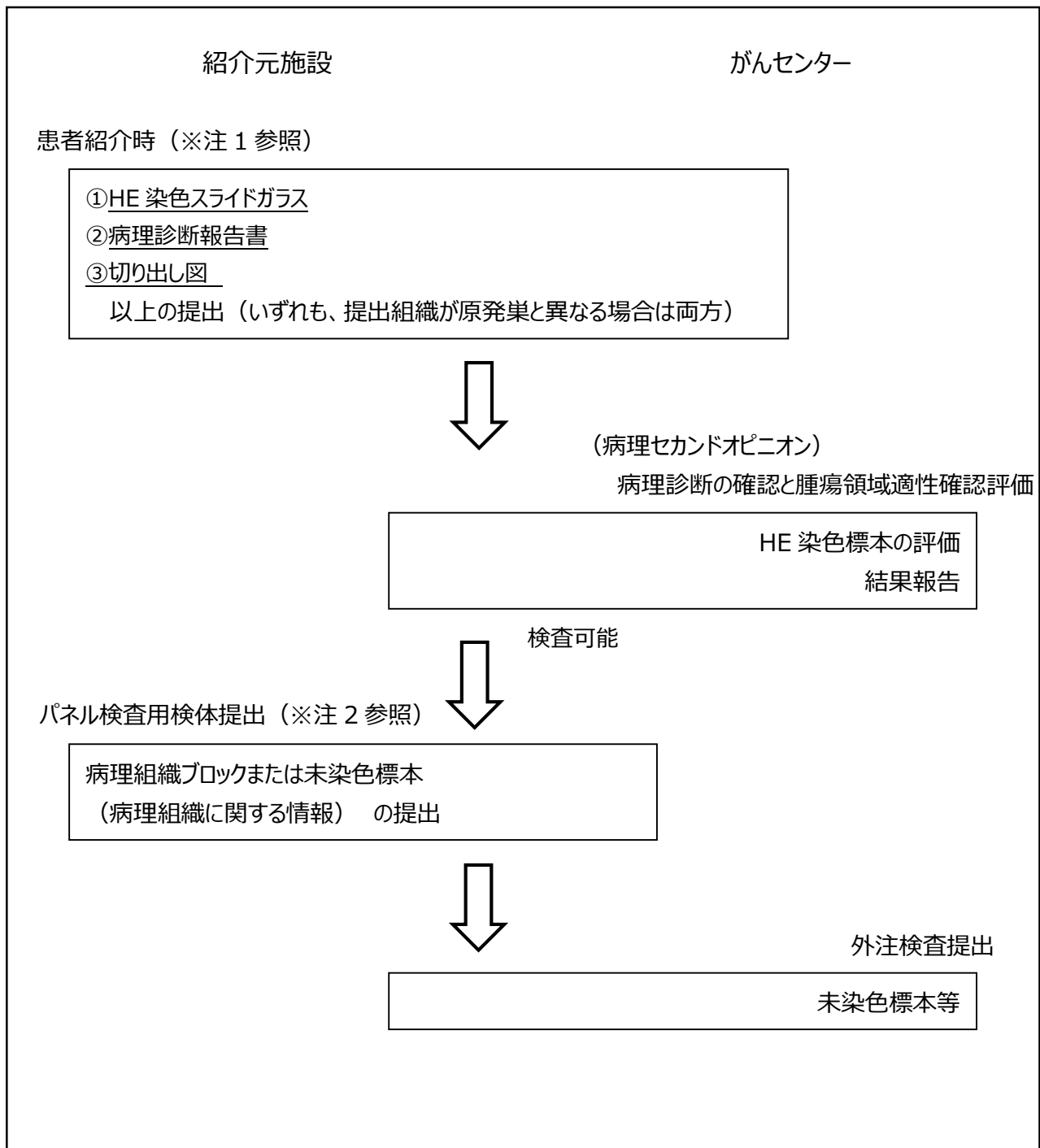
(病理検査部門用 第4版)

2022年4月1日

群馬県立がんセンター

臨床病理検査部・病理検査課

# 1. がんゲノム遺伝子パネル検査検体提出までのながれ



## 2. がんゲノム遺伝子パネル検査のための病理セカンドオピニオン検体の貸出について（注1）

当院では、がんゲノム遺伝子パネル検査提出前に、病理診断の確認と腫瘍領域適性確認評価のため、腫瘍部の HE 染色標本の貸し出しをお願いしています。

- ① HE 染色標本
- ② 病理診断報告書
- ③ 切り出し図

以上の提出をお願いいたします。（いずれも、提出組織が原発巣と異なる場合は両方）

### HE 染色標本選択の注意点

- ・状態が良く、腫瘍領域の多い部位を選択してください。
- ・腫瘍領域の表面面積が 5mm×5mm（25mm<sup>2</sup>）以上（生検検体は特に注意してください）。
- ・なるべく新しく作製されたものを選択してください。（作製後 3 年以内が望ましい）。
- ・酸脱灰が行われていない検体を選択してください。
- ・3mm 程度の厚さがあるブロックを選択してください。（生検検体は特に注意してください）

※検体の適否評価後に HE 染色標本は返却いたします。

### 3. がんゲノム遺伝子パネル検査用検体提出について（注2）

#### 1) パラフィンブロックを提出する場合

##### ① ブロックの選択（紹介時に選択した HE 標本のブロック）

- ・ブロックが薄くなっている場合は切りきってしまう場合があります。（全てゲノムプロファイリング検査に提出します）
- ・切りきってしまうとよい場合はその旨を記載してください。
- ・切りきってしまうことが不可の場合は、未染色標本の提出をご検討ください。（未染色標本を提出する場合、参照）
- ・（腫瘍領域の多いブロックを選択してください。）
- ・（腫瘍領域の表面面積が 5mm×5mm（25mm<sup>2</sup>）以上、生検検体は特に注意してください。）
- ・（腫瘍領域に存在する全有核細胞のうち、腫瘍細胞が 30%以上を必要とします。）
- ・（上記に加え、ブロックはなるべく新しく作製されたものを選択してください。作製後 3 年以内が望ましい。）
- ・（酸脱灰が行われていないブロックを選択してください。）

##### ② 病理組織に関する情報を提出してください。

（がんゲノム情報管理センター C-CAT への入力時に必要となります）

- ・検体採取日（原発巣と提出組織の両方）
  - ・検体採取方法（生検・手術・その他・不明）
  - ・検体採取部位
  - ・切出し図（ある場合）
- } （提出組織のみ）

##### ③ 検体の追加提出について

- ・抽出した DNA の品質に問題があった場合、パラフィンブロックの追加提出をお願いする場合があります。

※検査終了後にパラフィンブロックは返却いたします。

## 2) 未染色標本を提出する場合

### ① ブロックの選択（紹介時に選択した提出組織の HE 標本のブロック）

- ・（腫瘍領域の多いブロックを選択してください。）
- ・（腫瘍領域の表面面積が 5mm×5mm（25mm<sup>2</sup>）以上、生検検体は特に注意してください。）
- ・（腫瘍領域に存在する全有核細胞のうち、腫瘍細胞が 30%以上を必要とします。）
- ・（上記に加え、ブロックはなるべく新しく作製されたものを選択してください。作製後 3 年以内が望ましい。）
- ・（酸脱灰が行われていないブロックを選択してください。）

### ② 提出検体：腫瘍組織（FFPE）

- ・ HE 染色標本 2 枚または 3µm 厚の未染色標本 2 枚：非コーティングガラス使用。  
伸展・乾燥のための加熱は可能です。
- ・ 5µm 厚の未染色標本 10 枚以上（10～15 枚）：剥離防止コートスライドガラス使用。  
伸展・乾燥のための加熱は避け、常温で管理してください。
- ・ スライドガラスのラベル部分に貴施設の病理番号（枝番も含む）を鉛筆で記入してください。

### ③ 未染色標本の作製（ゲノム診療用病理組織検体取扱い規程に準じて行ってください）

- ・ マスクとグローブを着用してください。
- ・ 薄切前にマイクロームの周囲、マイクロームと替刃ホルダー、すくい用水桶を清掃してください。
- ・ 替刃は新しいものを使用してください。
- ・ 切りくず掃い用の筆によるコンタミネーションに注意してください。
- ・ パネル検査提出用切片（5µm）はコーティングガラスを使用してください。
- ・ パネル検査提出用切片（5µm）は伸展および乾燥のための加熱は行わないでください。
- ・ 酸脱灰は行わないでください。
- ・ 未染色標本はスライドケースに入れてお送りください。
- ・ 複数のブロックを薄切する場合、ブロックごとに清掃等を行ってください。

### ④ 病理組織に関する情報を提出してください。

（がんゲノム情報管理センター C-CAT への入力時に必要となります）

- |  |   |          |
|--|---|----------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 検体採取日（原発巣と提出組織の両方）</li> <li>・ 検体採取方法（生検・手術・その他・不明）</li> <li>・ 検体採取部位</li> <li>・ 切出し図（ある場合）</li> </ul> | } | （提出組織のみ） |
|--|---|----------|

### ⑤ 検体の再提出について

- ・ 抽出した DNA の品質に問題があるが患者が検査を継続して希望する場合は、未染色標本の再提出をお願いする場合があります。
- ・ 再提出のための未染色標本の作製は、初回提出と同一ブロックをお願いする場合と、異なるブロックから作製をお願いする場合があります。

※検査提出および当院保管のため、HE 染色標本と未染色標本は返却いたしません。

提出検体に関するお問い合わせ先

群馬県立がんセンター 臨床病理検査部 飯島 美砂  
病理検査課 土田 秀  
電話 0276-38-0771